

## 第 22 回 JCHO 玉造病院地域医療連絡協議会議事

日時 : 令和 8 年 3 月 12 日 (木) 17:00~18:00

場所 : JCHO 玉造病院 第一会議室

外部委員 : 松江市医師会 細田会長、松江赤十字病院 大居院長  
松江保健所 片岡所長、松江市健康福祉部 松原部長  
玉湯地区自治会連合会 福間会長

病院側委員 : 和田山院長、佐々木副院長、勝部副院長、三谷看護部長  
宮川事務部長

### ● 院長挨拶

### ● 外部委員および病院側委員の紹介

#### ➤ 外部委員 : 総務企画課長より紹介

松江赤十字病院 院長 大居 慎治 様

松江保健所 所長 片岡 大輔 様

松江市医師会 事務局長 河原 賢 様

(会長 細田 眞司 様 代理)

玉湯地区連合自治会 会長 福間 圭司 様

※松江市医師会 会長 細田 眞司 様

※松江市健康福祉部 部長 松原 正 様 (※は御欠席)

#### ➤ 内部委員 : 和田山院長、佐々木副院長、勝部副院長、三谷看護部長 宮川事務部長

### ● 議事

#### 1. 宮川事務部長より、運営状況等報告

- ① 令和 7 年度事業運営状況について
- ② 令和 7 年度の取り組みについて
- ③ 令和 8 年度に向けて

#### 2. トピックス (深津総務企画課長)

深津課長より「玉造病院の防災対策について」と題して報告が行われた。

● 質疑応答

○ 外部委員

今年度の手術件数が増加した要因は何か考えられますか。

○ 内部委員

コロナの影響で全体数が減少しており、それが今年度にかけて回復したことが要因の一つです。また、昨年度から水曜日を重点的な手術日と位置づけ、執刀医は手術日に外来診療を行わないなど手術件数を増加させる工夫も行っています。

○ 外部委員

今年度は経営状況が改善しており素晴らしいと思います。人件費が減少していますが、人員整理によるものか、もしくは何かの要因による不補充でしょうか。

○ 内部委員

職種によって異なりますが、医師、看護師や看護助手については退職等による欠員の補充ができないことが大きな要因です。また事務については、業務の見直し等により人員を削減しています。

○ 外部委員

看護師や看護助手の充足度はどの程度でしょうか。

○ 内部委員

通年で病床使用率が80~90%程度でも対応できるような体制を作っていますが、年度末は、退職予定の職員が年休を使用するなど各部署苦しい状況になっています。次年度に向けて、定数確保までには至っていませんが、事務と連携して採用活動を継続しています。

○ 外部委員

採用活動の主な手法は広報ですか。

○ 内部委員

県外を含めた各学校を訪問して募集活動を行う場合もありますが、県外からの採用実績が乏しいため、県内の看護協会の活動や就職フェアへの参加などに注力しています。

- 外部委員  
今年の冬は病床がひっ迫し、特に整形外科の救急受け入れについては各病院が苦勞されたことと思います。先日の圏域の保健医療対策会議では、他病院から急性期病床を減少する報告を受け、救急車の受け入れに影響するのではないかと危惧しています。高齢者の救急搬送が増加している現状では、玉造病院での救急受入に負担をかけてしまうのではないかと懸念しているのご配慮いただければと思います。
- 内部委員  
当院は元々5病棟体制で運営していましたが、人員減のため回復期病棟を1病棟減らしており5病棟体制と比べると受入が難しいのが現状です。
- 外部委員  
保健所としても市町村と連携して予防に注力する意向で、テレビ会議などで情報を共有しながら、来年度以降も進めたいと考えています。
- 内部委員  
毎朝病床会議をしており、下り搬送は電話があればすぐにでも対応できる体制を整えています。
- 外部委員  
先日の島根県東部を震源とする最大震度5弱の地震が起こった直後、患者さんにはどのような対応をしましたか。
- 内部委員  
食事は、職員が協力して階段を使い各病棟まで運びました。またリハビリ訓練中の車椅子の患者さんが自力で病室まで戻れない場面においても、階段で各病棟まで搬送しました。外来については、災害本部を立ち上げた後、本部主導で診療継続の可否を判断できず、現場判断で継続となりました。今回の地震対応の反省点だと考えています。
- 外部委員  
当院の外来においても診療科によって対応が異なっていました。振り返ったとき「患者さんを病院から帰すことが正しいのか」との意見があり、今後の検討事項としています。災害対策本部はどのようなメンバーで行ったのでしょうか。

- 内部委員  
災害対策本部を立ち上げた後、院長、副院長、看護部長、事務部長が集まり、合議で決定する仕組みをとりました。災害時にすべての意思決定を院長が行うのは、物理的に不可能だと思います。
- 外部委員  
先日の地震を通して、災害発生時には各病院の被害状況を共有し、その後の対応につなげることが重要だと実感しました。今後は病院長等会議に準ずるような、web会議で各病院が集まって情報共有する場面も必要ではないかと考えています。
- 内部委員  
BCPにはE-MISを利用した状況共有・収集を記載していますが、実際の場面で活用できるかはいささか懸念がありますので、今後の検討課題と考えています。
- 外部委員  
昨年からの地域住民への教育・研修をしていただいておりますが、玉湯町にある唯一の病院ですので、是非来年度以降も地域への貢献をしていただければと思います。
- 内部委員  
玉湯町の文化祭やざっくばらん会（介護施設等関係者の集まり）等に昨年からの参加しており、地域住民や施設との関係性も深めていきたいと考えています。
- 閉会の挨拶
  - 内部委員  
外部委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。昨年度に比べて収支が改善した点について評価いただきましたが、整形外科の緊急受入の増加懸念については、今後も患者さんを受け入れる体制づくりに努めてまいります。地域への教育・研修については、予防活動としての効果も期待されますので引き続き尽力いたします。
  - 内部委員  
次回は来年度9月ごろに予定しております。今回の議事録はホームページで公開しますので、後日、事前のご確認をお願いいたします。  
では、以上をもちまして第22回の協議会を終了いたします。  
本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。引き続きご支援ご指導のほどよろしくをお願いいたします。